

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回 大内地域協議会
開 催 日 時	平成19年3月27日(火) 午後1時30分
開 催 場 所	農村環境改善センター
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	田口 良一(副会長) 佐々木 盛三 鈴木 郁夫 田口 正夫 佐々木 秀雄 佐々木 正男 小笠原 良一 東海林 重
会議次第 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 案件 1) 専門部会の開催 2) 全体会の開催 4. その他 5. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿

(36名)

会 長	小松 敏博	富士盛久美子	総合支所
	小嶋 宏	堀川 一博	地域自治区長 小笠原察雄
	佐々木政勝	佐々木ハツ	総合支所長 遠藤 憲男
	加藤 龍一	東海林 長子	振興課長 斉藤 光一
	佐々木 源治		建設課長 加藤 徹朗
	小松 弘		教育課参事 加藤 均
	佐々木恭悦		市民課主席参事 佐藤ユリ子
	東海林 昇		生涯学習課主席参事佐々木良行
	鈴木 久雄		福祉保健課長 佐々木妙子
	鈴木 哲		産業課長 鈴木 一
	佐々木 多悦		
	金子 幸子		
	齊藤 豊		事務局
	東海林スツエ		主席参事 遠藤 信悦
	伊藤 花子		参 事 山口 光也
	布施 隆子		課長補佐 松永 豊
	伊藤 直子		課長補佐 堀 良隆
	吉田千代治		主 任 鈴木 司

会議の経過

第4回 大内地域協議会

平成19年3月27日（火）

午後1時30分 開会

事務局 第4回大内地域協議会を開催します。
会長よりあいさつをお願いします。

会長あいさつ （省 略）

事務局 案件に入ります。進行を会長よりお願いします。

会 長 案件1について事務局から説明してください。

事務局 第1専門部会・第2専門部会の開催会場と開催時間を説明

（第1専門部会・第2専門部会に分かれて話し合い）

（午後1時40分）

全体会再開 （午後3時20分）

会 長 専門部会の主な内容と次回開催について、部会長から報告をしてください。

部会長代理

第1専門部会の主な話し合いの内容は

- ・医師確保は、由利組合病院が主たる医療機関として充実を図るための施策が来年度予定されており、にかほ市との連携構想もある。
- ・ケアマネージャーの不足、特別養護老人ホームの不足が話題になった。
- ・施設入所待機者が多数いることも出ました。
- ・施設介護だけに頼らないために、在宅介護にもっと支援できないものか。
- ・子育て支援の、第2子・第3子以降の補助金制度は、ある程度効果が上っているようだ。

次回専門部会について。今回は専門部会の開催時間が短く感じられた。

今回は全日程を半日としながらも、話し合いの時間を十分とってほしいとの意見だった。また、ほかの地域の事例や話題についての資料を揃えてもらえない

だろうか、との意見もありました。以上です。

会 長

ありがとうございました。続きまして第2専門部会から報告願います。

部会長

- ・教育問題について。子供たちがテレビゲームに夢中になり、その影響として犯罪に結びついているのではないかな。
- ・テレビに出てくる多様な言葉による、子供たちの言葉の乱れ、いじめなどに結びついているのでは。
- ・読書の習慣をつけるように。岩谷小学校では毎週木曜日、読書タイムを設けているそうだ。
- ・スポ少でのバス利用について。バスを利用して、土日の大会に参加できないものか、という要望があった。バス代は保護者が自己負担となっても良い、とのこと。
- ・学校によらず、小規模校のほうが成績はいいのではないかな。
- ・合併により教育委員会が遠い存在となった。
- ・ごみ有料化に伴い、不法投棄の増加を心配する意見があった。他地域からの投棄もある。(市民) 一人一人に意識を高めるための勉強会が必要である。
- ・町内会ごとに徹底したお願いにより意識を高めていく。
- ・有料化に踏み切る前に、行政の負担を増やすべきではないかな。
- ・小中学校の空き缶回収は、その収益金をボランティアに向けている。
- ・粗大ごみは、業者やメーカーから先に料金を取るべきではないかな。
- ・滝方面の救急車について。救急車の到着まで40分かかる。場合によっては取り返しの付かないことになりかねない。お願いですが、東由利地域からの運用ができないものか。関連して道路が崩れている箇所があり、早期に修復してもらいたい。以上のような意見でした。

今回は、5月頃に(専門部会)単独で開催してじっくり話し合うように。

主な案件については今回と同様ですが1つに絞って話し合っていく。

会 長

ありがとうございました。各専門部会からの報告がありました。

大変活発な発言となり、大変良かったと思っている。

皆様から意見や質問ありませんか。

委 員 A

我々の話が(市関係部局に)素直に届くように、会長には特段のご配慮をお願いします。環境問題は難しい面もある。ごみ有料化による不法投棄や焼却などが心配される。

会 長

ごみ有料化については、新聞報道で知り驚いている。今後もこのことについて話し合っていきたい。同時に、にかほ市や大仙市の対応等を調べてもらい、

皆さんにも報告したいと思っている。

委 員 B 秋田市の「マイバック」制度の報道があった。由利本荘市ではそういった「ごみ減量化」の具体的な動きはないのか。

佐藤市民課主席参事 今のご質問は由利本荘市が「マイバック」制度を奨励しているかどうか、についてでしょうか。

委 員 B 奨励しなければならないことだと考える。進めていただきたい。

佐藤市民課主席参事 わかりました。本庁の担当と話をしていきます。

委 員 C 自治区長制度が廃止されると報じられている。自治区長には多種多様な役割を担ってきていただいた。我々の大きな関心の一つに他地域の実情についての情報をいち早く知りたいということがある。
今後もそのようなことを聞けるような形が必要と思うがいかがか。

小笠原自治区長 市長として議会に対しこの制度の廃止を提案して可決となった。
今後の対応についてのご質問ですが、地域の声を伝えると言う意味で、今回の人事異動で総務部の中に理事制を敷いてその役割を果たしていくとのようだ。地域からのさまざまな意見を、まずそこで受け止めて整理をし、反映できることは反映させていくようにしたいとのことです。まだ発表はされていないが職員に対しての連絡があった。その様にご理解をお願いしたい。

委 員 C 細かいことでもすぐ情報を教えていただきたいと思い発言をしたところです。

委 員 D 滝方面の救急車の話について。建設課長にも聞いていただきたいが、道路の決壊部分があり、直してもらわないとバスが通れない。これについてはいかがでしょうか。

加藤建設課長 由利地域振興局建設部に話しております。現段階では回復してないようですので、再度要望してまいります。

委 員 D よろしくをお願いします。

委 員 E 県の子育て税、森林税が話題になっている。新聞に目を通すとほとんど反対意見のようです。由利本荘市では、子育て支援のハード面はかなりしっかりやってくださっていると思っている。そこで、地域協議会として（子育て税に）反対あるいはもっと話し合っていたきたい旨のメッセージを出すことは

できないのか。専門部会は少人数のせいか活発に意見が出た。全体の会でも席の配置など工夫次第ではもっともっと皆さんから意見が出るのではないかと考えている。

会 長

県知事と由利本荘市民の話しあう会に傍聴に行った。森林税については、林業農家のほうから「森林税の導入をお願いします。」とのことだった。でなければもう森林は死んでしまうとの話でした。せっかく植林された山が手入れもされずにいる、といったことでした。

委 員A

お願いします。地域自治区設置条例の中で、第8条第3項「市長は、次に掲げる市の施策に関する重要事項であって、地域自治区の区域に係るものを決定し、又は変更しようとする場合においては、あらかじめ、地域協議会の意見を聞かなければならない。」は、大内独自に行われてきた施策、例えばランドセルの贈呈高校生通学補助、更には全市に関するごみ有料化問題など、なにも地域協議会に諮ることなく決まっていっているが、これには該当しないのか。私の判断では、これらの地域に係わる施策の変更は、前もって地域に相談説明があってしかるべきと考えるが。会長からも市に伝えていただきたい。

会 長

この件については合併協議会の幹事会で話し合われたものと思う。出来れば、小笠原区長よりお話をしたい。

小笠原区長

委員Aから、地域協議会の役割についてお話があった。いままで何も（相談が）なかった、と言うのではなく、いままでの一番大きかったのは、基本計画策定の基本的なご相談を申し上げてきた。地域の中の問題点がある場合は相談しなければならないのに「何も（相談が）無い。」とのご指摘でしたが、ごみ問題は、地域というより全体のことでありますので、地域協議会に相談することはなかったのではないかと私は判断する。ランドセルのこと、通学補助のことは、合併協議会の担当する会で結論が出ず幹事会上がってきた。そこで3年間の継続と言う話になった。幹事会の段階で3年間継続になりましたが、地域としてぜひ続けていくべきだとすれば（そういった話を）出していくべきだと考える。ある町内会の会合での話だが「この制度が3年間でなくなるとすれば、それは仕方が無い。ランドセルを市から贈呈していただいて大変良かった。金銭的な面はもちろんだが、全員が同じランドセルであり、それを修理しながら6年間使用できたことが本当に良かった。（この制度が）無くなるとすれば、これは保護者の考えによるけれども、共同で購入しお金は我々が出す。そうすれば今までと同じような形で使っていける」といったこともありました。そんな考え方もある、ということをお伝えします。ちなみに（ランドセル購入）額なんかたいしたことが無い。いろんな意見をお持ちの方がいらっしゃいますが、（是非

この制度を継続していかなければならないと考えるのであれば) そうした声を挙げていただければと考える。

委 員 A

わかりました。

会 長

ほかにありませんか。

(無 し)

会 長

その他についてありますか。

(無 し)

会 長

これで案件を終了します。

事 務 局

こちらからの提案です。毎回の専門部会で必ず結論を出す、又は、意見の集約をする、といったところまでできなくてもいいのではないのでしょうか。今回の話を次回更に話し合う、疑問点を次回まで考える、調べるといったことも有り得ることと思われるがいかがか。もしよろしければご了承願いたい。

これで、第4回地域協議会を終了します。

16時20分 閉会

